



筋力トレーニング教室

Q 筋力トレーニング教室について
A 藤岡市は介護保険料が県平均と比べて3000円〜5000円程安いという調査結果が出ています。各地域で筋力トレーニング教室などの介護予防事業を実施している効果が出ているものと思いますが、参加者の約8割は女性です。筋力の向上だけでなく地域住民のコミュニティ形成にも役立っている事業であり、男性にも気軽に参加していただきたいと考えています。そのために、男性のみを対象にした「男の運動教室」の開催や、日中に参加できない人向けの「夜の筋力教室」を試験的に実施していく予定です。

Q 「高山社跡」の活用について
A 来場者数は、世界遺産登録直後をピークに減少しています。もう一度行ってみようと思っただけのように、情報館の設置や昔の姿に復元する工事を行っています。しかし、建物を整備するだけでは再来者を増やすことにはつなげられません。建物だけでなく、そこで行われた教育や事業の内容を見て、知っていたことが大切であると考えています。

**世界文化遺産
「高山社跡」について**

Q 在宅介護支援について
A 施設から在宅へという方針で、「地域包括ケアシステム」という制度を実施し、高齢者世帯や要介護者が住み慣れた地域で暮らし続けられる体制を目指します。その一つが生活支援体制整備事業です。区長会や民生委員、地域のボランティア団体、介護予防サポーター、地域包括支援センター、在宅介護支援センター、警察などを委員として地区ごと（公民館単位）に協議体を設置し、その地域の高齢者の困りごとや要望に合ったサービスの創出などについてさまざまな意見交換をしているところです。

Q 空き家対策の現状について
A 「空き家等対策の推進に関する特別措置法」により、市が空き家を積極的に撤去することが可能になりました。しかし、建物だけでなく土地や

空き家対策について



高山社学で蚕を飼育

市民の皆さん、特に子どもたちに高山社跡に愛着を持っていただくために、小中学校では高山社について学ぶ「高山社学」を全校で実施しています。加えて、高山社跡をまちづくりや観光客の市内回遊に結び付けられたいか検討しています。

その他
 周辺農地の管理問題など、あくまで所有者によって管理されなければ根本的な解決にはなりません。そのため今後も引き続き所有者に対して適正管理の指導を行っていきたくと考えています。また、市では空き家バンク制度の策定を予定しています。この制度は、空き家を売りたい・貸したい人の情報をまとめ市ホームページで公開するもので、買いたい・借りたい人は指定の不動産事業者を通して購入・賃借ができるようになります。この制度を使用して購入・賃借した空き家を対象にしたリフォーム補助の実施も検討しています。

座談会では、本紙で紹介したほか、
 ・有害鳥獣対策
 ・市有施設の運用
 ・中学生の職場体験学習
 ・歩道のバリアフリー化
 などの質問がありました。地区別座談会の概要や質疑応答の内容は各地区公民館または市ホームページをご覧ください。

問い合わせ 自治交流課 ☎ 2211



神流地区の様子

市民と市長の意見交換

地区別座談会

市では7月14日から8月5日まで、各地区8会場において市民と市長の直接対話を目的とした地区別座談会を開催し、473人が参加しました。
 今回の地区別座談会は「藤岡市の高齢者対策について」をテーマにその課題や取り組みについての説明、また「第5次藤岡市総合計画」について説明とアンケートを実施しました。意見交換では、参加者の皆さんから活発な意見や提案がありました。

主な質疑と応答

高齢者対策について

Q 藤岡市の認知症、徘徊高齢者対策について

A 認知症対策の総合支援事業を平成30年度までに進めていきます。具体的には、認知症専門医などで構成される初期集中支援チームの設置、認知症の人とその家族のための相談業務や医療機関・介護サービスなどとの連携支援を行う認知症地域支援推進員の配置、認知症に対する正しい知識と理解を深め地域や職場で認知症の人とその家族を手助けする「認知症サポーター」の養成と活動支援策について

地区別座談会		
期 日	会 場	参加者
7月14日(木)	小野公民館	61人
7月20日(水)	美九里公民館	47人
7月21日(木)	平井公民館	40人
7月25日(月)	鬼石公民館	54人
7月29日(金)	美土里公民館	49人
8月1日(月)	神流公民館	60人
8月2日(火)	日野公民館	28人
8月5日(金)	藤岡公民館	134人
合 計		473人

徘徊高齢者対策としては、GPS（人工衛星による全地球測位システム）機器を購入する際に、費用の一部を補助する制度を実施しています。